



## ケヤキ並木の再整備方針を決定しました。

3月3日にすみれが丘会館にて第2回意見交換会を行い、26名の地域の方々にお集まりいただきました。今回の意見交換会では、けやき通りの街路樹整備計画をどんな方針で進めていくか、皆様の投票により決定しました。その結果、方針は「異種に植え替え」に決まり、今後に向けて樹種候補や樹種の決め方について意見を伺いました。

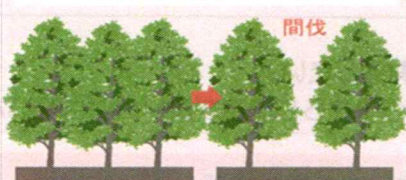
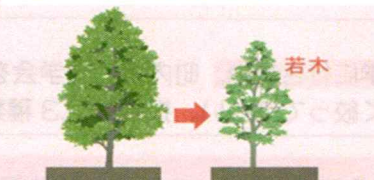
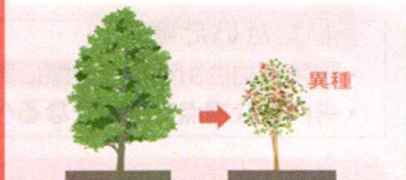
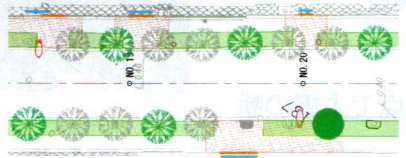
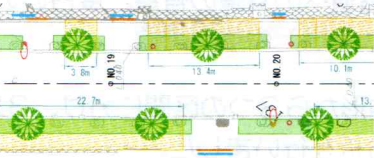
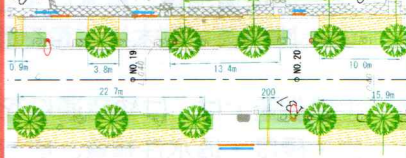


今号では、再整備の方針案、樹種候補、選定の方法についての意見交換の内容、今年度のケヤキ調査の内、土壌調査の結果について報告します。

### 意見交換の内容

#### 1. 再整備の方針について

再整備方針案 A~C の3案の特徴や整備イメージ（平面図）について説明し、投票を行いました。

	(A)間引き、支障木の撤去	(B)若木に植え替え	(C)異種に植え替え
方針			
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在のケヤキ並木を維持するため、活力不良等の問題は残る。</li> <li>設置基準を満たさないものは伐採し、満たす範囲に若木を新植する。</li> <li>整備後は現在の約 1/3 の本数となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きくなった現在のケヤキを撤去し、新しくケヤキを植え、新しいケヤキ並木をつくる。</li> <li>剪定整枝によりあまり大きくならないよう育てる必要がある。</li> <li>将来、同様の問題が抱える可能性がある。</li> <li>整備後は現在の約 1/3 の本数となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異種に植え替え、次の世代に新しいシンボルロードを残す。</li> <li>選定整枝により管理が容易な大型の樹種、生育の遅い中型・小型の樹種にすれば、街並みと道路に合った大きさと育てられる。</li> <li>整備後は現在の約 1/2 の本数となる。</li> </ul>
整備イメージ			
凡例	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路樹種との離隔基準を満たさない範囲</li> <li>残す樹木</li> <li>伐採する必要がある樹木</li> <li>新しく植える樹木</li> <li>植栽帯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高木を植栽できる範囲</li> <li>新しく植える樹木(ケヤキ)</li> <li>植栽帯</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高木を植栽できる範囲</li> <li>新しく植える樹木(異種)</li> <li>植栽帯</li> </ul>
投票結果	0票	1票	25票

### いただいた意見

けやき通りの再整備は、異種に植え替える方針で計画を進めていきます。

- 沿道住民としては、ケヤキによる様々な被害を経験しており、異種に植え替えてほしいと思っている。
  - ケヤキで苦勞もしているが、愛着があることも事実。ケヤキ以外の木を選択することは、断腸の思いであることも理解してほしい。
  - 平面図や文章だけでなく、パース等ビジュアル的に街の景観がどうなるのかわかる資料を提示してほしい。
  - 街路樹の再整備については、時間をかけて決めていきたい。下水道更新と街路樹の再整備を別々にできないか。
- (市) 下水道更新工事は、既存のケヤキの根への影響に配慮して施工する必要があることから、ケヤキ並木再整備計画と切り離すことができない。



## 2. 樹種候補について

植え替える樹種は、けやき通りの沿道環境に合った樹種を選んでいくことが大切です。また、街路樹が植わっている環境は、樹木の生育環境としては厳しい条件にあるため、強く、かつ美しい景観を作り出すことのできる樹種を検討していきます。

意見交換会では、街路樹の大きさや常緑・落葉に分けて、それぞれの特徴を説明するとともに、樹種の例（右表参照）を紹介しました。

グループ	種類	特徴	樹種(例)
剪定整枝で管理が容易な大型の樹種	常緑	本来は大きく成長する樹種だが、剪定整枝がある程度容易なため、生育抑制できる樹種。 一般的な街路樹として多く使われてきた樹種。 ※大型の落葉樹は、戸建住宅を中心とした街並みや道路の大きさ、維持管理面を考慮し、候補には入れないこととした。	クロガネモチ、シラカシ、アラカシなど
	常緑	強健で、中型・小型で、成長がさほど速くなく、管理が容易な常緑樹。 但し常緑は季節感が無い。 剪定整枝も可能だが、剪定するとなかなか大きくなる。	モッコク、モチノキ、ホルトノキなど
中型 小型	常緑	比較的強健で、中型・小型で、成長がさほど速くなく、管理が容易な落葉花木。 多くは自然樹形で花、実、紅葉が楽しめる。軽剪定は実施。	ヤマボウシ、ハナミズキ、サルスベリ、ハナノキ、ヒトツバタゴ、ハクモクレン、コブシなど
	落葉	剪定整枝も可能だが、剪定すると花や実があまり付かなくなる可能性が高い。	

### いただいた意見

- ・ケヤキの葉で滑っている様子が見られ、転倒が心配である。滑りづらい葉の樹木はあるか。
- ・剪定をしなくても樹形のきれいなものが良い。
- ・すみれが丘の街の特性や環境保全を考えて選定していきたい。
- ・ケヤキは落ち葉に悩まされた。落葉樹ではなく、常緑樹の方が良いのではないか。
- ・常緑樹だと冬場の日当たりが心配である。
- ・シンボルになるよう花の咲く木が良いのではないか。

例：シラカシ、 ヤマボウシ



## 3. 樹種の決め方について

すみれが丘のシンボルとなる樹種は、住民の皆さまの意見を聞きながら決めていきます。どのように決めていくべきか、意見を伺いました。

### いただいた意見

- ・樹種候補の街路樹を実際に見学に行きたい。町内会で見学会を開催したい。
- ・専門的な視点で候補をなるべく絞ってほしい。投票は2,3種類の中からした方が良いのではないか。

樹種は、次回の意見交換会（2019年7～8月頃に開催予定）で皆様に投票していただき、決定する予定です。事前に候補となる樹種の特徴をまとめた資料を配布しますので、その資料を見ながらどんな樹種が良いかご検討いただき、次回意見交換会にお越し下さい。

## 今年度のケヤキ調査 土壌調査結果について

今年度調査のうち③について報告しました。（①②は前回報告済み）

- ①健全度見直し診断（昨年度までの診断の見直し）…樹木の健全度の調査
- ②沿道環境調査…樹木による沿道への支障の有無、度合いの調査
- ③土壌調査…樹木の生育基盤（土壌）の状況調査

土壌調査では、けやき通りを地形から3つの区間に分け、3地点で土壌の断面・硬度・透水性調査、成分分析を行いました。

### 調査結果

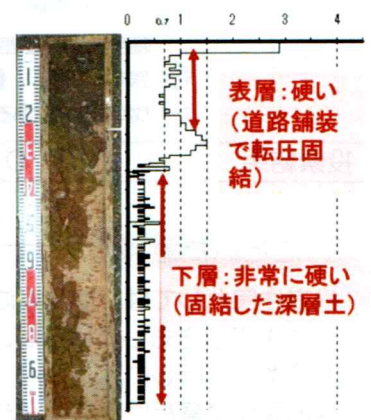
- ・自然地形を造成工事により改変したため、切土・盛土・昔の表層土の場所がモザイク状に分布している。
- ・全体的に、根の生育に適さない程硬い土である。
- ・基本的に関東ローム層（赤土）で、栄養分は少ないが、障害になる成分は含まれていない。

### ●樹木の根の生育に適する土壌にするためには・・・

- ・根系が広く、深く成長できるように、植栽地を広くする。
- ・堀り上げ、埋め戻すことで土壌の硬度、透水性、通気性を改善する。
- ・土壌改良材を混入し、土壌の養分等を改善する。



土壌調査の様子



表層から1mの土壌断面の様子



2019年度も引き続きケヤキ並木再整備について意見交換会を行っていきます。開催日時は後日お知らせします。一緒にシンボルロードの将来について考えていきましょう！